

# 朝日寺だより

## 明日を見据えて

住職 若松隆英



檀信徒の皆様、あけましておめでとうございます。良いお年をお迎えの事と存じます。平素は朝日寺の護持のため、色々とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

一昨年は御開帳、昨年は高野山御開創千二百年、またそれに向けた準備等々でこの数年は特別な年が続いて参りました。多くの方の力によって無事に遂行することができ、また多くの方々にその特別な時空間へ触れて頂き、成功裏に終えることが出来ましたこと感謝申し上げます。今年からはまたいつもの年に戻りますが、また新たな意識で年中行事や日々の檀務などに取り組んで参りたいと思っておりますのでよろしくお願ひ致します。



さて例によって目を世間に転じてみますと、昨年は日本に元氣をもたら

らしたニュースとして、ラグビーW杯での日本代表の快進撃がありました。普段ラグビーを見て来なかった人にとっては、日本が頑張った歴史の勝利を挙げたという事実の背景は後から知るしかなかったのですが、この結果に至るまでの選手・関係者の努力は凄まじいものだったとことです。勝つための努力を重ねて世界に挑んで負け、また努力して世界に負けないで、を決して世間の脚光を浴びない中でも二十年以上続けて来てついに昨年の開いたのです。これは「念ずれば花開く」、もう少し仏教的に言えば何度上手く行かなくても諦めず己の力を信じて来た「不動心」、お大師さまのお言葉を借りれば「道理に迷って苦しむのも、自分の中にある仏に目覚めて正しく励むのも自分の決心次第」信じて修行すれば誰でも必ず仏になれる」といったところでしょうか。何だか自分に言い聞かせたいような言葉ばかりです。ラグビーの皆さんは努力が実って大喜びでしょうが、その背後には、今は花開いていなくても花開く時を信じて道を歩まれている方がこの世の中の各方面において大勢いらつしやることにも心に留めておきたいものです。

他に昨年の重大な出来事を顧みますと、良くも悪くも時代の流れや社会の変化を感じさせられるものが多かったように思います。社会の変化はもちろなお寺に関わることも例外ではありません。葬送の意識変化は都市部だけではなく田舎にもどんどん広がってきていると特に近年感じます。「家族葬」というごく内輪の方で見送る葬儀の形式が認知されて久しいですが、人と人の繋がりが強いと思われている当地域のような田舎でも多くなりました。高齢化が進み施設や病院で長年過ごされて近所の方々の繋がりが薄くなっていたり、家族親族も方々に散らばって残された人自身が故人を取り巻く人との繋がりが薄くなっていること、単に都市部の風潮が田舎にも及んできている、などが背景にあると思えます。しかし特に田舎における近所付き合いは今なお強く、長年付き合いをしてきた方の最期ぐらいは見送りたい、お葬式には行きたいと思われている方が周りには今なお多い(加えて故人も最後は生前親しくしていた人にも見送ってもらえれば嬉しいと本音では思うはず)もので、そのひずみが生じているケースが見受けられるのも事実です。単に昔に時を戻せば良いというものではないですが、人と人の繋がりが薄らいでいくという世の中の流れには寂しさを感じます。

英会 隆松 若松  
代 総 松 隆  
刷 印 滝 印 刷

新年明けましておめでとうござい  
ます。新年をお迎えのこととお慶び申し上  
げます。

## 新年の御挨拶

総代長

清水 佐伯男

檀家の皆様方にはご家族お揃いで  
新年をお迎えのこととお慶び申し上  
げます。

昨年朝日寺の行事につきまして  
檀家の皆様のご協力により盛大に  
楽しく行うことが出来ました。振り  
返ってみますと2月3日の節分会で  
は80人を超えるご参加を頂きました  
。高野山御開創一〇〇〇年を記念  
した聖燈なども節分会に合わせて朝  
日寺に持ってきて頂きました。こん  
なことはめったに有ることであり  
ません。本当にありがたいことです。

心温まる節分会が出来ました。  
また、続く5月には花祭りを中止  
し、高野山にお参り致しました。7  
3名の方がご参加下さいました。弘  
法大師が中国で真言密教の修行をさ  
れ、それを広めるために高野山に平  
安時代前期の弘仁7年(816年)、  
金剛峯寺を建立されてから昨様が御  
開創一〇〇〇年の記念の年でありま  
した。檀家の皆様には2月の聖燈に  
よる縁縁と、5月の高野山参拝とで  
大きなおかけを頂くことが出来まし  
た。

7月のよみあげ(投げ銭供養)で  
はまず、岡山医療生協協同組合理事  
の太田早智子先生の「脳をいきいき  
させましょう」という講話がありま  
した。「認知症による物忘れ」「加齢  
による物忘れ」「アルツハイマー型  
認知症」等の説明があり、脳の活性  
化5か条の説明がありました。大変  
有意義なお話でした。私は今でも当  
日の資料を時々出して読んでおりま  
す。その後の法要では、戦没者、初  
盆の方の供養が住職の方の読経により  
行われ、過去帳の名前を読み上げら  
れることもたくさんありそうであ  
す。今年も五月八日に約二十年ぶ  
りに落語会も行なう予定です。大  
勢の方にお参り頂ければと存じま  
す。他にもいくつか行事を行いま  
すので今年も大勢の方にお参り頂  
ければと存じます。寺門興隆のた  
めには皆様のご協力が不可欠で  
す。本年もどうぞよろしくお願ひ  
致します。



かしどんなに時代が移ろ  
うとも絶対変えるべきで  
ないと思うことも多くあ  
ります。一時的な流行や  
錯綜する情報に迷うことなきよう  
に。ただただ時代に迎合してしまっ  
ては本来のお寺のあり方自体が揺る  
ぐような事柄も多く存在すると思  
います。そんな中で変わるべきこと  
は変える一方で、何があってもブレ  
ることなく続けるべきことは貫く、  
「正しく励む」ように心掛けて精進  
したいものです。  
特別な年でないからこそ見つけら

最後に皆様のご多幸を祈念致し  
まして年初のごあいさつとさせて  
頂きます。  
南無大師遍照金剛 合掌

## 2016年 朝日寺カレンダー

一昨年の御開帳成満記念  
として朝日寺オリジナルカ  
レンダーを作成致しました。  
御開帳に何かとご協力頂い  
た方への感謝として順次お  
配りしております。

1月から12月までその時期の  
写真とともに、朝日寺の諸行事予  
定等も書かれています。(多くの方  
には夏の欄でお配りしてありま  
すので早すぎて忘れられている  
方もおられるかも!?!しれませ  
んが...) ぜひご活用して頂けれ  
ばと思います。

